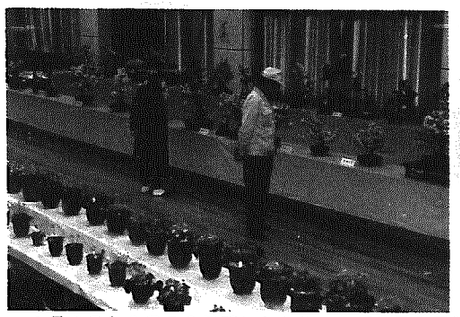
まちのニュース

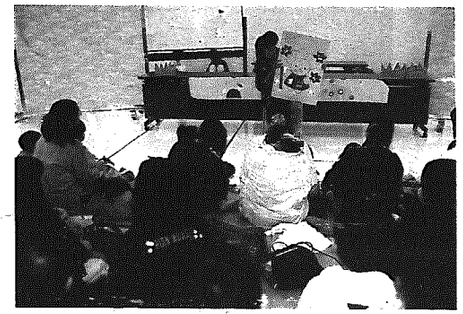
町の様々な出来事をお伝えします。

一足早い春



3月8日と9日の2日間にわたり、北部地区公民館で、陽春花物展示会と山野草展示会が行われました。会場に訪れた人々は、見事な盆栽や、雪割草などの山野草に、一足早い春を感じていました。また、山野草の即売会の収益は、後日、あすなろ会に寄付されるそうです。

たんぽぽクラブが発表



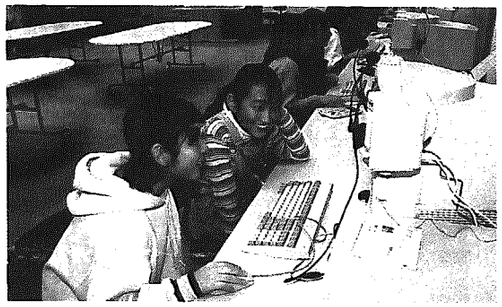
3月12日（水）、保健センターで、「子を持つ親の集い」が行われました。これは、乳幼児の子を持つグループの集いで、各サークル活動の今後の参考にと、鳥原「たんぽぽクラブ」が、人形劇「3匹のこぶた」やジャンボカルタ取りなどの日頃の活動を発表しました。白根市からの参加も合わせて、10サークルの代表者は熱心に意見交換を行っていました。

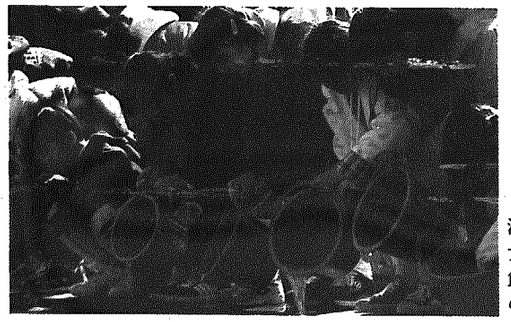
小学校で今昔

黒埼町の今昔の筆者宮田栄門さんが、2月24日（月）、山田小学校3年生の社会科授業の一日講師を行いました。子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんが使った昔の冬道具を見たり聞いたりして、当時の生活を勉強していました。

立仏小もネットワーク

簡保資金を使った特別教室増築工事に伴い、立仏小学校にもコンピュータ教室ができました。3月13日（木）、卒業をひかえた6年生を対象に、コンピュータネットワーク体験授業が行われました。子供たちは、ドキドキアタックなどのソフトを使いコンピュータ同士、友達同士で言葉や画像を送り合いました。2時間の授業でしたが、子供たちはネットワークを満喫し、もっとやりたいなどの声が上がっていました。

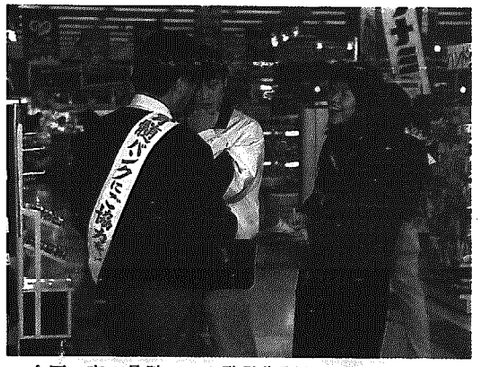




3年後また来てね

3月18日（火）、信濃川漁業協同組合黒埼支部主催の鮭の稚魚放流が、新田町の中ノ口川左岸で行われました。これは、きれいな水の大切さを小学生の頃から知ってもらおうと始まったもので、3カ月間飼育した5から7センチの稚魚50万匹を、大野・板井・黒鳥小学校の5年生160人が、また元気で帰ってきてねと願い川に放しました。

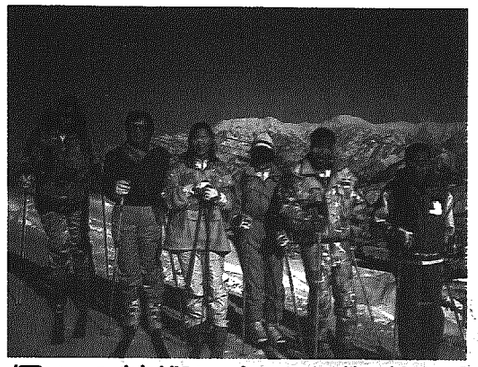
骨髄移植が1000例に



全国一斉の骨髄バンク啓発街頭キャンペーンが、黒埼では2月9日（日）、山田の清水フードセンター前で行われました。これは、骨髄バンクを介しての移植が1000例に達しようとしている中、骨髄バンクの社会的支援の重要性を地域社会へ呼びかけるために行われたもので、ライオンズクラブの皆さんや、にいがた・骨髄バンクを育てる会の人たちが道行く人に呼びかけていました。

毎日の行いが善意に

2月17日（月）、緒立のあすなろ作業所で、町老人クラブ連合会の皆さんが、毎日、空き缶拾いを行い、1年がかりで得た収益金15万円をあすなろ会に寄付しました。また、黒埼荘デイサービスセンターにCDカラオケセットも寄贈しました。



個々の技術にあった指導

2月20日（木）、六日町ミナミスキー場で町民スキー教室が行われました。1月から始まり3回目の今回は、初回から参加されている方も多く、講師の先生は、クラス分けで行われるレッスンは回を重ねるごとにレベルアップがよく分かり、個々の技術にあった指導ができますと、続けての参加を呼びかけていました。

思いやりに表彰

2月22日（土）、保健センターで、第12回青少年健全育成大会が開催されました。活動経過報告に続き、健康と思いやりに富んだ活力ある青少年に贈られる、若葉賞の授賞式や、明るい家庭づくりの作文の表彰が行われました。その後、木場小学校児童による棒踊り、エッセイストの大田朋子さんの記念講演が行われました。

町はきっときれいになる

鳥原環境クラブ
大野小5年　塩谷　彩夏

2月9日いい天気の日曜日、鳥原かんきょうクラブのみんなと今年度最後の活動として、ほけんセンター周辺のごみ拾いをしました。あんまりごみが多くてびっくりしたので、思った事を書くことにしました。

◎空きカン、空きビン
　思ったより数が多くて、中身が入ったまま置かれるように、捨ててあった空きカンもたくさんあった。

◎ガムやお菓子の包み紙
　図書館や体育館の周りが、特に多かったので、行事に参加する人が途中で捨てているのかと思った。

◎たばこのすいがら
　これはすごい。なったって数がすごい。ひどいのは、駐車場で車の灰皿をそのままひっくり返したように捨ててあった場所もいくつもあった。大人のマナーは、子供のマナーよりひどいんじゃないかと思った。

◎不思議なごみ
　「なんでここにあるの?」と、だれかに聞いてみたくなるようなごみも多かった。たとえば、ガラスのかけら、プラスチック、かん電池、ダンボール。みんなでごみ箱の中を整理しているような気分になるくらいにいろいろなごみがあった。

◎犬のふん
　あまり多くて、思わずふんじゃった人もいたりして、とっても気分が悪かった。

今回の事で、黒埼町にもマナーの悪い人が、たくさんいる事がわかりました。

私はどうしたら、マナーの良い人が多い町になるのか考えました。まずみんなに事実を知ってもらおうと思いました。だから、この作文をみんなに読んでもらいたいと思いました。マナーを守ってほしいと思った人が、多ぜいの人に気持ちを伝えていって、みんなに伝われば、町はきっときれいになると思います。かん板やポスターやチラシもはったら良いと思います。

お父さんが言いました。「犬がおしめをして散歩しなくては、きれいにならないんじゃないか?」私は、そんな犬は見たくありません。ごみの落ちていないきれいな道路をかわいく歩く犬がいいです。そして、ふんの落ちていないきれいな草むらで思いっきり遊べる町になったら良いと思います。

鳥原環境クラブの皆さん

広報くろさき 平成9年4月号